



進路指導室前の掲示板に貼られてある兵庫県立大学のポスターです。先日新聞にも取り上げられていましたが、「夜明け前がいちばん暗い～やがて新しい世界が始まる 学び続ける君に力を～」というキャッチフレーズです(写真左)。そして、朝6時30分頃の東の空を見ると間もなく日の出を迎える瞬間、空が明



るようになってくるところです。夜が明けてくる前はとにかく暗いですし、今の時期だと一番気温が下がり寒いです。でも必ず明けてきます。明るくなって暖かくなってきます。うまくいかない時、しんどい時、生活しているといろいろなことがあります。そんな時はこのポスターに書かれていることを思い出したり、朝早く起きて日の出を見たりしてみてもいいのではないでしょうか。少し前を向けると思います。

さて、2月5日12時に推薦入試、特色選抜の願書受付が締め切られました。今年は、体育科60名、生活科学科29名、看護医療類型28名といずれも定員は超えました。さらに緊張感を増して準備を進めなくてはなりません。16日本番、21日合格発表となっています。新型コロナへの対応として配慮すべきところをしっかりと受検生を迎えたいと思います。受検生の皆さん、体調管理に気を付けて頑張ってください。

2月8日からは生活科学科のインターンシップが始まりました。今年は、受け入れ先にご迷惑にならないよう、人数を絞り、西脇ロイヤルホテル4人、加東給食センター4人、アンプリエ mishima1名、企業組合彩雲1名の合計10名がお世話になります。アンプリエでは、と



ても気さくな店長さんのもと、生地づくりを教えてもらっていました。給食センターでは、具材をカットして調理する段階を手伝っていました。加東市内の小中学校3100食分を作っており、11時には滝野方面の第一便が出るということで慌ただしい作業となっていました。フライを揚げたり、和え物を作ったりするところもあり結構忙しく動いていました。彩雲では、商品の搬入や総菜づくりの具材カットを教えてもらいながらやっていました。ここは生活科学科の卒業生が多数お世話になっており、生き生きと仕事している姿が印象的でした。西脇ロイヤルホ

テルでは接客清掃を含め、厨房での食事の準備等多岐に渡っての実習だったようです。10日の厨房での作業は、午後からマナー実習で来る1年生の料理の仕上げをしていました。その後はホテルのコース料理を説明を聞きながら食べさせてもらっていました。昨日はスイーツ製作も手伝ったということでホテルの従業



員の多くの方々にお世話になったようです。午後からの1年生の和食のマナー実習ではホテルの青山料理長から説明をしていただきながら会席料理(会席料理は会話をしながら楽しんで食べる料理で、懐石料理はお茶席で食べる料理で作法が厳しく決められていることで区別されます。)を食しました。2年生のインターンシップ参加者が最後の仕事として給仕を手伝いました。かなり広い会場で普段は8人掛けの席を4人掛けにする等配慮していただきました。生徒たちの実習にご協力いただきこの場をお借りして感謝申し上げます。私自身、4か所とも訪問させていただきましたが、それぞれの場所で事業所の方々に受け入れ態勢を整えていただき、実習ができたことは本当にありがたかったと思います。生徒たちも貴重な経験となったことと思います。生活科学



科代表としての責任感を持ち活動してくれていたようです。次年度は全員でさらに多くの事業所にお世話になり、経験を積ませてもらえるように日々の活動に精進していきましょう。

体育科はこの時期例年であればスキー実習に1.2年生ともに行くのですが、緊急事態宣言下ということもあり、宿泊をやめ、2月9日に2年生のみ日帰りのスキー実習としました。同日、1年生は三草山登山を実施。



2月10日は1.2年合同で、嬉野台生涯教育センターにおいて冒険教育の予定を組みました。2月8日に結団式を行い、注意事項を確認。この時期の実習の

意義や本来の目的など山田体育科長からの話があり、各班で打ち合わせを行いました。9日朝、6時30分に2年生は集合し、バスで出発。今年は検定を実施せず、技術向上に努めるようです。1年生の三草山登山は初めての試みです。やしろ

国際学習塾までは歩道を大野先生が先導して1列で走り(後押さえは高木先生)、道路を横断する際は歩行に切り替え速やかに横断し、揃って走り出すのを繰り返しました。(集団行動も兼ねて)道路を走る姿は、奇麗に足並みが揃っており、なかなか見応えがありました。三草山は、標高が423.9mとそんなに高くはない



のですが、険しい箇所も何か所もあり、短時間で行くにはなかなかハードですが、体育科の生徒たちですから大丈夫でしょう。皆元気に出発していきました。私も鹿野コースを昨年のゴールデンウィーク中に登ったことがあり、厳しいコースだと感じた記憶があります。頂上の清々しさは、登山の楽しみでもあるので、是非味わって帰ってきてほしいです。一方スキー部隊の方は、元気に午前の実習に取り組めたとの報告が入りました。雪の状態も今年はかなり良いようで、良い実習ができたのではないのでしょうか。午後もしっかりと滑って、帰りのバスは爆睡…。1日目の実習は1.2年生とも無事終了しました。

2日目は、生涯教育センターでの冒険教育です。昨日の疲れをもとめせず、自転車で生涯教育センターに向かい、専用の場所で午前中はアイスブレイクなど集



団で気持ちのほぐれるゲームをしました。指導員の方は、リーダーバンクに登録された方が務められ、ファシリテーターと呼ばれグル

ープ作りやリーダー育成のため社員研修や、小中学校の野外活動などでも指導されている方々です。社高校としての利用は初めてでしたが、体を動かしながら気持ちをほぐし、仲間づくりを進める方法やリーダーの決め方など午前中は小グループでの実習でした。午後からは広場の施設を使っての体験活動です。説明を受けた後は班ごとにローテーションしながらクライミングウォールを登ったり、高いところから飛び込みながらボールを触ったり、ワイヤーロープを渡ったりと恐怖を伴いながらの実習だったようです。普段鍛えている彼らでも思い切

りを試される場面では、「ちょっと待って。」を連発。青空の下でのびのびと活動していました。それぞれ命綱を付けて滑車で吊られた状態での活動でしたので、当然のことながら仲間意識の醸成には役立っていますし、お互い励まし合い、アドバイスをしながらの活動で良かったと思います。ワイヤー渡りでは、従来は丸太の上を渡るようですが、それ以上に怖さが募って来たのでしょうか進み具合も遅かったようです。かなり腕を使うことが多かったので、いつもとは違う筋肉痛に襲われるのではないかと思います。生涯教育センターの方々も「さすが体育科ですね」と彼らの能力の高さに驚いていました。小中学生では一日でここまで行かないそうです。良い天氣に恵まれ貴重な経験ができました。生涯教育センターの方々、指導員の方々ありがとうございました。

来週は、いよいよ推薦入試、特色選抜入試です。今一度気を引き締めて準備を怠らず、入試を終えることができるようにします。生徒の皆さんは、入試のための休業等ありますが、学年末考査の準備を各自で進めておいてください。あっという間に2月末まで来ますよ。よろしくお願いします。

また、新型コロナ感染も少し落ち着きを見せてきましたが、緊急事態宣言解除までは至っていません。今一度、気を引き締めて感染防止対策を継続していきましょう。春はそこまで来ています。気持ちよく春を迎えることができるように…。

